

日野川の源流と流域を守る会

会 報

ひのがわ

— 第21号 —



= 目 次 =

- ・平成24年度総会・講演会 2~5
- ・レポート 日野川一斎清掃 6
- ・レポート 日吉津海岸クリーン作戦 7
- ・これからのイベント・行事/会員募集/編集後記 8



日野川の源流と流域を守る会

平成24年度 総会・講演会

■ 2月20日(月)、米子市文化ホール

米子市末広町にある米子市文化ホール イベントホールで平成24年度の日野川の源流と流域を守る会総会・講演会を開催しました。

また、日野川流域に関係のあるアニメ「光明寺の河童」と「龍神淵」(スタジオディーン制作)を上映し、歴史ぶかい日野川への思いを新たにしました。



=会長あいさつ=



日本水大賞受賞

日野川の源流と流域を守る会の総会にご参加いただき、ありがとうございました。会長を仰せつかり5年目を迎えました。皆さんのご支援をいただきながら、活動を進めてくることが出来ましたことを心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、当会の第13回日本水大賞の厚生労働大臣賞受賞は大きな出来事がありました。この賞は地域活性化や学校教育の場、水を中心とする活動を支援するもので、全国20数団体が表彰されました。秋篠宮殿下並びに妃殿下出席のもと大臣表彰があり、賞状をいただきました。環境大臣等が出席されるような大臣表彰は久しぶりでした。当会の活動は関係者の間でも有名とのことで、当日行った活動発表でも大変に好評でした。

また、私も昨年に初めて日野川源流を訪れました。日本水大賞の副賞を活用して、新しく道後山の御影石を用いた源流の碑を建立しました。ここが日野川の源流の目印といえますので、源流探訪などのイベントがある折りには、ぜひ訪れていただきたいと思います。

あるべき姿

当会は、水に親しみ、日野川の環境を守ることなどを主題に活動しています。これからも日野川がどういう生き様をし、どういうあり方が望ましいか、日本や地域の環境・文化などはこれで良いのか、あるべき姿を求めていきたいと思います。

活動を継続する上で、自然や水を守るということのほかに、歴史や文化の視点も忘れてはなりません。文化的な面においても地域の振興に寄与できれば良いと思います。さきの東日本大震災では人間が制御できないような大きなエネルギーに手を出していることを皆が知ることになりました。このような生活を継続すべきかどうかについて考え直す必要があると思います。世の中のあるべき姿について、皆で考えを進めようこの会の発展を願い、冒頭のご挨拶とします。本日はありがとうございました。

平成24年度 活動の基本方針を決定

- 日野川の大切さを伝え、守り育てるという会の原点を大切にし、その理念の輪を広げる。
- 森林・河川保全等のボランティア活動に積極的に参加する。
- 上流域と下流域の幅広い交流を活発にする。

役員改選

役員任期に伴う役員改選があり、次の方々が新役員に就任されました。

会長	能勢 隆之	鳥取大学学長
副会長	大谷 和三	社団法人境港水産振興協会会長
副会長	野坂 康夫	米子市長
副会長	増原 聰	日南町長
監事	竹内 敏朗	西部町村会会長
監事	天崎 直幸	日南町商工会会長



平成23年度収支決算

1 収入の部

(単位：円)

区分	決算額	備考
繰越金	1,356,871	平成22年度より
会費	995,000	
参加費	0	
県補助金	352,838	とっとり県民参加の森づくり推進事業
寄付金等	650,000	日本水大賞副賞500,000円、山陰合同銀行寄付金150,000円
その他	259	預金利息
計	3,354,968	

2 支出の部

(単位：円)

区分	決算額	備考
会議費	182,643	総会
事業費	1,064,844	日野川源流探訪、地域の自然を守る活動、奥大山古道ウォーク、日野川流域憲章記念事業、日本水大賞事業
助成金	619,337	10団体に助成
広報費	86,100	会報印刷配布
事務費	317,910	郵送料、封筒作成費ほか
予備費	0	
計	2,270,834	収支残は繰り越し

平成24年度収入予算

今年度は、総会・講演会や森や川・海を守る活動、歴史や文化・自然を守る活動、日野川流域憲章記念事業、森と水に親しむ支援事業、上下流の交流推進等の活動をします。

1 収入の部

(単位：円)

区分	前年度予算額	本年度予算額	増(▲)減	備考
繰越金	1,356,871	1,084,134	▲ 272,737	平成23年度より
会費	952,000	896,000	▲ 56,000	H23会費収入995千円×90%
参加費	45,000	0	▲ 45,000	
県補助金	400,000	400,000	0	とっとり県民参加の森づくり推進事業
寄付金	150,000	0	▲ 150,000	
その他	129	866	737	預金利息
計	2,904,000	2,381,000	▲ 523,000	

2 支出の部

(単位：円)

区分	前年度予算額	本年度予算額	増(▲)減	備考
会議費	220,000	200,000	▲ 20,000	総会(講演会を含む)
事業費	1,050,000	850,000	▲ 200,000	
助成金	700,000	730,000	30,000	
広報費	130,000	100,000	▲ 30,000	会報ほか
事務費	400,000	350,000	▲ 50,000	郵券料、封筒作成、用紙代
予備費	404,000	151,000	▲ 253,000	
計	2,904,000	2,381,000	▲ 523,000	



平成24年度 日野川の源流と流域を守る会 講 演 会

盛会となった平成24年度日野川の源流と流域を守る会総会のあとに、鳥取大学工学研究科の岡田さんを講師におむかえし、日野川のオオサンショウウオについて講演いただきました。その概要について資料を交えて誌上報告します。



講 師 岡 田 純 さん
(鳥取大学工学研究科 研究員)

演 題 「日野川に棲む生きる化石
オオサンショウウオ」
～地域の自然環境を活かす方法とは？～

オオサンショウウオの現状、生態

オオサンショウウオ科の化石は、ジュラ紀の恐竜時代からのものが発見されているが、現在は世界で3種が知られるのみとなっている。オオサンショウウオは、日本固有種でおもに中国山地に生息する。

日野川源流域ではオオサンショウウオの個体数も多く（調査地の多里周辺で500個体以上確認）、再生産の場としても重要である。日野川の中流や下流域にも本種は生息するが、詳しい生息状況はよくわかっていないので調査が必要である。

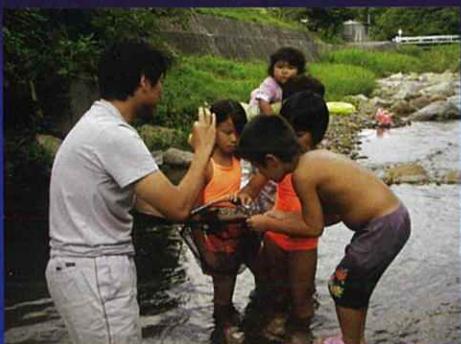


日野川流域の自然の活用

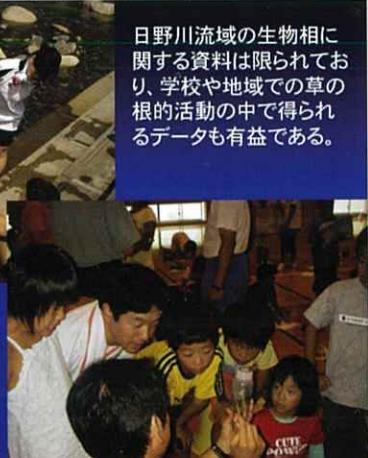
オオサンショウウオの研究成果を発表することで日野川源流の自然が国内外から注目され、研究者やメディアが毎年訪れている。日野川流域には、里山から山地の渓流まで様々な自然環境がみられる。しかし調査はあまり行われておらず、日野川流域の持つ自然の価値も十分把握できていない。身近な自然に眼を向け、川遊びや生物調査を通して正しい自然観を身につけながら、情報発信をしてほしい。

オオサンショウウオ調査は自然に学ぶこと。日野川の自然は環境学習やエコツーリズムの資源として活用できる。

・日野川流域の自然を調べる



日野川流域の生物相に関する資料は限られており、学校や地域での草の根的活動の中で得られるデータも有益である。



日野川への想い

日野川の自然や価値を高めて地域の活性化につなげるべきである。日野川の源流と流域を守る会は流域内の個々の活動のつなぎ役としてさらに発展してほしい。

オオサンショウウオが身近にいる日野川

・集落周辺にもハンザキが棲む、産卵する、子が育つ
(世界に誇れること、後世に残すべき日野川の自然)



日野川流域の保全と活用

- 個々の活動を日野川流域全体でつなげていく(学校や住民参加型の生き物調査、日野川ラフティング、展示施設などなど)
- 河川環境の保全再生(住民:川の美化、行政:自然に配慮した工法を採用[山口県の水辺のこわざ等を参考に])
- 流域内での連携・情報発信を行うために源流の会の活動は重要
- 以上を踏まえ、日野川の価値を高め活性化につなげていくことは可能

レポート

日野川一斉清掃

H24.7.1

場所：日野川河川敷



土手も綺麗にしよう



日野川がいつまでも綺麗でありますように

7月の河川愛護月間にあわせて日野川一斉清掃(事務局：国土交通省日野川河川事務所)が開催されました。この日野川一斉清掃に日野川の源流と流域を守る会として初めて参加しました。美しい自然環境や河川景観を守るために、ふるさとの日野川に感謝を込めながら、清掃ボランティア活動に従事しました。

当日はあいにく雨が降りしきる天候の中での清掃活動となりましたが、全体では9団体から約1,300人もの大勢の参加者が清掃に汗を流されました。そこには吸い殻やプラスチックゴミ、ビン、缶、ペットボトルなど様々なゴミがうち捨ててありました。全体では約6トンものゴミが集まりました。



▲川沿いもていねいに



▲草むらも念入りに



▲清掃へ、いざ、出陣！

告知！スマホやケータイで撮った日野川に関する写真をお送りください

日野川流域憲章記念事業「日野川スマホ・ケータイ写真コンテスト」を開催する予定です！

テーマは、「ふたたび、恵み豊かな“日野川”のすばらしさ」

日野川は恵み豊かな川です。この日野川のすばらしさを広く皆さんに紹介するため、カメラ付携帯電話やスマートフォンで撮影した写真を募集する予定です。

日野川や日野川流域の風景、大山などの山並み、流域の人々の生活、歴史文化など日野川に関係するものであれば何でも結構です。さまざまな賞もご用意することとしています。

※詳細は決まり次第にお知らせします。会員の皆さんもドンドンご応募ください。

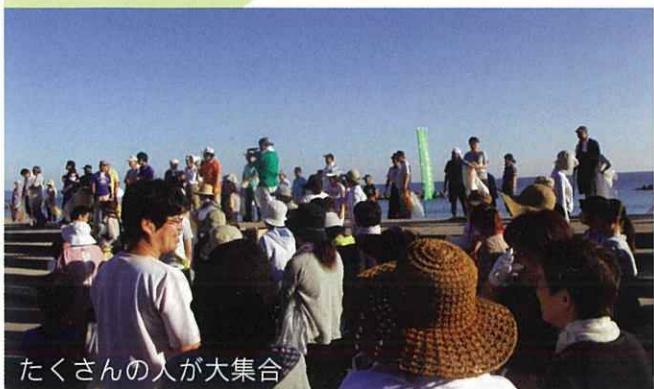
〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨140-1 鳥取県日野総合事務所 県民局内日野川の源流と流域を守る会事務局
電話 (0859)72-2081 ファクシミリ (0859)72-2072

レポート

日吉津海岸クリーン作戦

H24.8.26

場所：日吉津海岸



みんなできれいにしよう！

日吉津海岸クリーン作戦実行委員会が主催された日吉津海岸クリーン作戦が開催されました。この美しい日野川の最下流となる日吉津海岸を清掃するボランティア活動に参加しました。例年どおりたくさんの参加者が清掃活動をされました。以前より少なくなったとはいえ、たくさんのゴミが集まっていました。



みんなで力をあわせて、清掃しました

募集中！ 平成24年度 森と水に親しむ活動を支援します

※日野川源流の会会員が自主企画する活動を求めます

ご相談ください！

ふるさと日野川の源流と流域の自然環境や日野川と関わる生活文化を守り育んでいくことの大切さを体験し理解いただくため、森や水（水辺）に親しみ学ぶ活動について支援しています。

◇ 支援の対象となる活動

- ・日野川及びその流域の森で行われる森や水に親しみ学ぶ活動やイベント
- ・森や水辺の自然やこれらに関わる歴史・文化などを学ぶことが盛り込まれた活動

◇ 支援対象となる会員

- ・個人会員：概ね10人以上が参加する事業で会員の参加が全体の2分の1以上
- ・法人会員：概ね10人以上が参加する事業

◇ 支援対象となる経費：借上料、資機材購入費、講師謝金・旅費などが支援対象

◇ 支援額：当会の会員が企画されるものは、1団体当たり10万円が支援限度

※詳細は事務局にご相談ください。

案 内 平成24年度 これからのおイベント・行事

時 期	イベント名	内 容	開催場所
10月21日(日)	地域の自然を 守る活動	セイタカアワダチソウ、アメリカセンダングサなど地域の自然を阻害する外来植物の除去活動に参加します。活動終了後に、鏡ヶ成高原の自然に関する観察会をします。	江府町御机
10月下旬	奥大山古道探訪	牛馬の売買などで大山寺を参拝する多くの人で賑わった奥大山古道をゆったりと散策します。地元のおもてなしも計画しています。	江府町御机、 下蚊屋
12月下旬	会報「ひのがわ」 発行	会の活動状況や日野川源流と流域の保全などについて情報提供・意見交換します。	流域一円
2月	総 会	平成25年の会の活動方針等について協議します。日野川流域に係る話題を内容とする講演会も予定しています。	米子市 (予定)

○イベント内容については、変更する場合もあります。

○イベントの詳細や参加申し込み方法については、募集の都度ご案内します。

日野川の源流と流域を守る会

会員 大募集中!

当会の活動は会員の皆さんに
支えられています

「日野川を日本一美しい川」にするため、
日野川の源流と流域を守る会の活動に参
加しましょう！

お申込み方法や会費などのお問い合わせ
などについて、お気軽に下記事務局まで
ご相談ください。Eメールやファクシミ
リは、いつでも受け付けしております。
なお、電話によるご相談は、月曜日から
金曜日までの午前8時30分から午後5時
15分まで受け付けております。

日野川流域憲章

【前文】

私たちは悠久の時の流れの中で、多くの恵みをもたらしてくれた日野川、その流域のすばらしい自然・環境を守り、日野川の清流化に向けて活動します。

日野川はたくさんの動植物の生命を育み、たくさんの人たちの生活も支えてくれています。

また、日野川流域には伝統ある生活文化・芸術が育まれています。

私たちは日野川の歴史・自然を学び、よく理解して、より豊かできれいな日野川の流れを後世に残すために、みんなで力をあわせて活動します。

のために、ここに「日野川流域憲章」をつくり、多くの人たちの参加・協力をお呼びかけます。

【日野川流域憲章の理念】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとのすばらしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切にして、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

平成20年8月23日
日野川流域憲章制定実行委員会



編集後記

ちょっとした編集子のつぶやきです

☆日野川の河口から源流までは約77キロメートルもあります。これまでに編集子は日野川源流探訪や奥大山古道ウォーキング、自然観察会などのイベントでかなりの遠路を歩いてきましたが、その延長には遙かに及びません。その域に到達するにはまだ旅を続けなければなりません。これからも、あるべき姿を求めて息の長い活動を続けてまいりたいと思いますので、皆さまの叱咤激励をお願いいたします。

☆会員の皆さまの様々な活動のアイデア、情報などを寄せください。会員のコミュニケーション誌となるべく、ひろく皆さんのご意見等を掲載させていただきます。（編集子）